

EVENT INFORMATION

♪ 石神井 Int'l オーケストラ 第4回定期演奏会

- ・日時 2017年6月18日(日) 13時半開場 14時開演
- ・場所 清瀬けやきホール
- ・曲目 弦楽セレナード(ドヴォルジャーク)
ディベルティメント K.138(モーツァルト)
弦楽8重奏曲(メンデルスゾーン)

*上記のイベントはいずれも入場無料です!

♪ クニト Int'l ユースオーケストラ 第4回定期演奏会

- ・日時 2017年5月28日(日) 13時半開場 14時開演
- ・場所 清瀬けやきホール
- ・曲目 アイネ・クライネ・ナハトムジーク(モーツァルト)
カルメン幻想曲(サラサーテ)
ヴァイオリン・ソロ: 梶谷 明凜^{あかり}
弦楽セレナード(エルガー)

石オケ・クニトオケを通して初の、
団員によるソロです。ご期待ください!



♪ - 石オケ、クニトオケの international な人たち

石オケで海外生活経験のある人や海外にルーツを持つ人を聞いて回ると、こんなに大勢いました! 全員には聞けなかったのですが、実際はもっといるかもしれません!

アメリカから23歳のとき来日、中国から29歳のとき来日、オランダ 5年

日本とベトナムのハーフマレーシア 5年

イタリア 1年、イギリス 5年

幼少期からインターナショナルスクールに通っている

上:石オケの人たち
左下:ユースの子供たち
約20人の団員中、8人が海外生活経験があると言うから驚きです!

シンガポール 7年、ドイツ 2年弱、アメリカ 11ヶ月、タイ 1年、ベトナム 3年

インドネシア 1年、フランス 2年

アメリカへ8年!

我がマエストロ、国登先生。先生のお母様の実家にホームステイでいらした交換留学生在がヴァイオリンを弾いていた、その影響から国登先生はヴァイオリンを始めました。そう、その約40年前の国際交流が国登先生の音楽人生ひいては石オケの全てのはじまりだったのです! 恩師である故田中千香土氏の「君は海外に行け!」という言葉にも背中を押され、高校卒業後にアメリカポートランド州立大学に留学、その後ニューヨーク大学の大学院に進学。2002年から約8年間の留学と仕事を終え、2010年に日本に帰国しました。昨年6月の第3回定期演奏会では、アメリカイリノイ大学のルドルフ・ハケン先生をソリストとしてお呼びしコンチェルトを共演。また、その機会をきっかけに今年4月には、イリノイ大学やウェスタンイリノイ大学、米国弦楽指導者協会等で、講演やリサイタルを行う予定です! 留学の愚痴?や経験をリアルに語った国登先生の著書「愚痴留学日記(Amazon.co.jpにて販売中!)」もお薦めです(^^)ゞ

演奏の仕事でスペインへ!

団員たちの海外経験を聞いて回っていると、「僕も演奏の仕事でスペインへ行ってたよ」と言って、即興でフラメンコ風の音楽を奏で出した毛利巨塵(もうり きょじん)先生。こんなところも石オケの魅力です!!

石神井 Int'l (インターナショナル) オーケストラとは?

平成25年1月、石神井公園を拠点に新しいオーケストラとして音楽監督・西谷国登氏により創立。愛称「石(しゃく)オケ」として、楽団員や地元の方々に親しまれ活動中。石神井公園近辺での公開練習やプレ演奏会等の実施、依頼を受けての出張演奏など、地元密着のオーケストラを目指す。また、米国イリノイ大学よりルドルフ・ハケン教授をお招きして定期演奏会にて共演したり、ジャマイカ・ナショナル・ユースオーケストラへの楽器寄贈の貢献をジャマイカ大使より表彰されたりなど、積極的に国際活動や国際貢献を行っている。メディア(J:COM、ねりまNPOニュース等)にも幅広く取り上げられている。

長期目標の舵切り!そして第4回定期演奏会に向けて



石オケ音楽監督・西谷国登氏と
ジャマイカ大使・R.アリコック氏

昨年秋の「みどりの風・区民コンサート」が成功に終わった事、嬉しく思います。団員の皆様やお手伝い頂きました皆様に感謝申し上げます。さて、本コンサートでは石神井中学校の吹奏楽部と合同演奏をしましたが、その際に常々考えていた今後の方針が明確になりました。石オケは当面、フルオーケストラにはせず、「弦楽オーケストラ」として活動し続けます! 他の楽団との合同コンサートをしやすいのが弦楽オケの強みであり、日本や世界の色々なオケと関わる素晴らしい機会を楽団の皆さんに作ってあげられると思います。どんどん活動範囲を広げて行きたいです! さて、第4回の定期演奏会まであともう少し! 体調に気を付けつつ、楽しく熱中して頑張りましょう! 来年も皆様に楽しんでもらえるよう、着々と面白い企画を練っていますよ~!

INTERVIEW

アリコック ファミリー Allicock Family



左が筆者のクリスチャン。隣は妹のヴィクトリア。

石オケの正式名称「石神井インターナショナルオーケストラ」。でもどこがinternationalなの? そんな疑問に答えるべく、本号では石オケのinternationalっぷりを特集します。ジャマイカから来日しお子さん2人が石オケに参加しているアリコック一家。お兄さんのクリスチャンにインタビューしました!

Q: 日本に来てから石オケに参加するまでの経緯を教えてください!
Could you tell us the way you came Japan and joined SIO/KIYO?

クリスチャン: こんにちは! 僕はクリスチャン・アリコックです。僕の家族は、ジャマイカ政府から駐日大使を任命された父とともに、2013年に来日しました。国登先生のヴァイオリン教室に通い始めたとき、石オケとユースオケのことを知りました。その後すぐに国登先生は僕を両方のオケに招待してくれ、僕は新しい経験ができると大喜びし即座にそのチャンスに飛びつきました。

Christian: Hi, My name is Christian Allicock. My family and I have been living in Japan since 2013 due to my Father, who was assigned to serve as ambassador on behalf of the Jamaican government at their embassy in Tokyo. I discovered SIO/KIYO after



2015. 6. 21 第2回定期演奏会でのロビーコンサートで兄妹で共演

coming to Mr. Nishitani, conductor of the orchestra, for private lessons. Shortly after, Mr. Nishitani invited me to join both SIO and KIYO. I was elated at the chance to experience something new and jumped at the opportunity immediately.

Q: 日本はどうですか? What do you think of Japan?

クリスチャン: 日本はファンタスティックです! ジャマイカから日本に来て、この2つの国は、変わった食べ物や、人々が音楽に親しんでいること、美しい自然、など共通の特徴を持つことに気が付きました。

Christian: Japan is fantastic! Coming from Jamaica, I have realized that both countries share similarities such as interesting food, engaging music, and beautiful nature.

Q: 石オケはどう? 西谷先生ってどんな人?

What do you think of SIO/KIYO and maestro Kunito?

クリスチャン: マエストロ Kunito は、いつも元気いっぱい、石オケとユースオケで精力的に指揮・指導をする先生です。優しく親切であるとともに、その若さで団員を鼓舞する姿は、あらゆる面で尊敬できる人だと自信を持って言えます。音楽を学ぶ者として最も重要な時期にこのオーケストラにいられることは、いくら感謝してもきれません。Christian: Maestro Kunito is an encouraging teacher and a focused conductor of both SIO and KIYO. His kindness

and care, combined with his youthful eagerness to challenge his students, asserts him as a great role model for all. I thank God for allowing me to be here during this critical period of my musical studies.

Q: 読者にひと言お願いします!

Finally, please say a word for the readers!

クリスチャン: この新聞を読んでいる皆さん、チャンスがあれば、ぜひこのオーケストラに入って国登先生の活動をご自身で体験してほしいです。絶対に楽しいです! Christian: If the chance presents itself, I encourage you to come and personally experience the work of Kunito Nishitani through SIO and KIYO. I am sure that you will find it fascinating.

MEMBER PROFILE



エンドウ アツコ
遠藤 敦子



2nd ヴァイオリン 私がウワサの、石オケの名ブロガーよ！

あこがれのオーケストラの団員となって2シーズン目を迎えました。技術的にも経験的にも未熟者ですが、なぜか初年度から2nd Violinのフォアシュピラー(トップ奏者の隣の席)を任じられ、マエストロの至近距離で日々鍛えられています。マエストロや各パートトップの息遣いを肌で感じられるポジションは、心地よい緊張感を味わえて、私にとっては最高の環境です。

私のもうひとつの仕事は、石オケHPのコンテンツの一つである公式ブログを執筆すること。主筆として、日々の練習会やイベントの様子をマメに発信しています。読者の興味をそそるように、ほんのちよっぴり話を大きくしている部分もありますが、書かれている内容はすべて事実に基づいています。石オケの魅力が臨場感たっぷりに伝わっているものと確信しています。笑い話が多いですが、石オケの追求する音楽のことにも「ちゃんと」触れていますよ！



petit! NEWS 音楽 ブログ続々更新中！

石オケHPでは、毎回の練習やイベントの様子が写真を添えてブログに書き綴られています。涙あり、笑いありあり！な石オケの空気をぜひ感じに来てください！

2月11日の練習会～早くも折り返し～

shakuoke 2017年2月12日 練習

2月11日、4thシーズン12回目の練習会です。この先の練習予定を改めて教えていたら...



繰り返しの練習回数も12回。ということは、4thシーズンも今日が折り返し点、もはや譜読みがどうの、とか言っではいけないところに来ているのです！これは、タイヘン！！

今日からは、これまでの練習成果を順次、確認しつつ、各楽曲の音楽性を高めようという段階に入ります。



石オケ HP
shakuoke.com



クニトオケ HP
kuniorch.com

Facebook、Twitterもやっています！

Facebook: <https://www.facebook.com/Shakujioke/>

Twitter: @shakuoke

国登先生が練馬人図鑑に出演されました！

国登先生の練馬人図鑑YouTube再生回数は2月現在歴代トップ！(祝)また、11月28日～12月4日までJ:COMでも放映されました！



練馬人図鑑 YouTube
第9回 西谷国登さん



インタビューの小林綾子さんの要望で「愛の挨拶」を演奏する国登先生。素晴らしい感想をくださった小林さんの、その後のキラーパスは必見です！右上QRコードあるいは下記URLより、ぜひ映像をご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=zghKSWxoSdk>

EVENT report

◆みどりの風・区民コンサート 主催：練馬区 2016.10.10 松の風文化公園 松林のひろば

練馬区独立70周年の記念事業の1つとして、「みどりの風・区民コンサート」が昨年10月10日に松の風文化公園にて行われました。国登先生がプロデュースを依頼されて開かれた本コンサートでは、石オケとクニトオケが地域の各種団体とコラボステージを行いました。コンサート当日、幸いにも好天に恵まれ、会場は大勢のお客さんに越しいただき立ち見も出るほどでした。一緒に出演してくださった、石神井町囃子連、練馬区新体操連盟、練馬区立石神井中学校吹奏楽部の皆様、誠にありがとうございました！また機会がありましたら、よろしくご依頼致します！



◆JA あおば収穫祭コンサート 2016.11.27 ぐれ村

昨年11月27日、練馬区の農業体験農園で野菜作りをされている方々の懇親会(収穫祭)で、石オケメンバー有志8人による余興演奏をしてきました。定番のクラシック曲にポピュラー音楽を交え、和やかな雰囲気の中で楽しく演奏することが出来ました。演奏が終わった後は、「芋煮」などの料理やお酒、ビンゴ大会など、遠慮無く存分に楽しませていただきました^^。またこのような機会をいただけると嬉しいです！



石オケでは演奏依頼を受け付けています！
石オケ事務局 (shakuoke@gmail.com) までご連絡ください！

PART INTRODUCTION

～チェロ、コントラバス～

4人→8人と倍増したチェロ団員に、待望のコントラバス団員の加入。今期、低音の厚みが素晴らしくなりました！パート紹介第2回では、そんなチェロ・コントラバスを特集します！！



毛利先生のかけ声で「エイ、エイ、オー！」
(この日は休みのチェロ団員がちょっと多かったです;;)

♪ 井上さん(チェロ)と岡崎さん(コントラバス)の対談 ♪

低音を担う2つの弦楽器、チェロとコントラバス。それぞれの楽器の特徴を教えてください！チェロは、メロディも低音による下支えもできるオールラウンダーな楽器です。メロディが回ってくると気合いが入ります！エンドピンという楽器の下から出ている棒を地面に刺し、座って内股で楽器を挟んで安定させて弾きます。

コントラバスは、オーケストラの響きを支えることだけに特化した楽器。あっても気づかないけど、無いと気づく。そんな空気みたいな存在。チェロ同様にエンドピンを地面に刺しますが、立って弾くこともあります。弓の持ち方も違いますよね(写真参照)。

お互いの楽器に対して思っていることを教えてください！井上さんも言うように、チェロはオールラウンダーな楽器。ヴァイオリンは4人いてもアンサンブルにならないんですよ。でもチェロ4本だとなるんですよ。上から下まで音域が出せるから。できます。ずるいと思っています...コントラバスは、オケでは自分が弾いている楽器の音があまり聴こえてないんですよ。え！？楽器から直接じゃなく、壁とか床に反響した



チェロ
コントラバス

音がよく聴こえるのか、近くにいるとあんまり聴こえないんですよ。そんなことあるんだ。私はめっちゃ聴いてますけどね。チェロの人はコントラバスをすごい頼りにしているんです。出るとき後ろからグンって来てくれて、「あ、来た」って。すごい頼りになる。いないと辛い、縁の下の力持ち的な...石オケではコントラバスにチェロパートを弾かせることが多いですけど、正直つらくないですか？うん、モーツァルトやベートーベンとか古典派の曲は、チェロとコントラバスが同じパートを弾くことが多いから、チェロを想定して書かれた譜面をコントラバスで弾くのはけっこう辛い。チェロほど速くパッセージを弾ける楽器じゃないから。楽器が小さいほど速いパッセージを弾くのは楽ですよ。ヴァイオリンで弾くパッセージをチェロで弾くと苦しいこともあるんですよ。ロマン派になるとコントラバスは別のパートになる。今期の曲では、モーツァルトとメンデルズゾーンがチェロと同じパートで、ドヴォルザークは別のパート。メンデルズゾーンの



練習後に毎晩流れ込む中華料理屋にて。
左から、西谷先生、井上さん、岡崎さん。

8重奏は、そもそもコントラバスパートが無いのでからね。。。コントラバスが特別に活躍する曲ってあるんですか？「象」しか思いつかない(笑)。「動物の謝肉祭」(サン＝サーンス)のあ、あと、「新世界より」(ドヴォルザーク)第2楽章。最後はコントラバスだけで4パートに分かれてハーモニーを奏でるんです。チェロでは絶対やりたくない。あと、コントラバス弾きはブラームスが好き。間違いなく。岡崎さんもそうなんですか？僕はそんなでもないけど。。。

話は尽きませんが、こんなところで。今年の定期演奏会では、ヴァイオリンだけでなく低音パートにも耳を傾けてください！あと、できればヴィオラにも...

RECRUITMENT

☆石オケ・クニトオケ団員募集

団員は随時募集しております！！

○募集パート：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

○入団基準

石オケ：原則、大学生以上。ポジション移動が出来る事。協調性と向上心が有り、なおかつ楽しみながらオーケストラ活動をしたい方！(ヴァイオリン、チェロは若干名)

クニトオケ：小学生～中校生。ヴァイオリンは、ポジション移動できる事が望ましい。小学生は保護者の同伴をお願いします。

※入団希望者には、簡単なオーディションを受けていただきます。

○練習日・・・基本的に月2回土曜日夕方(クニトオケ)、夜(石オケ)
※演奏会前は臨時練習あり

○練習場所・・・練馬区近辺
(主に石神井公園ふるさと文化館)

○費用(石オケ、クニトオケ共通)
入団費3,000円、団費3,000円/月
別途、定期演奏会への参加費がかかります。

☆協力会員募集

石神井Int'lオーケストラでは、定期演奏会をより充実したものにするため、協力会員を募集しております！

入団希望および協力会員のお申し込みは、石オケ・クニトオケHP(左ページ)よりお願い致します。